



Future Report 2019

2019.01.01 - 2019.12.31

フューチャー株式会社 TSE 1ST SECTION:4722



ごあいさつ

最新技術の活用と創造的思考により ビジネスと社会の未来をデザインする

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

フューチャーは、経営改革志向の技術者集団として、経営戦略とIT戦略の両輪で考えるというコンセプトのもと、多種多様な業界のお客様の未来価値を最大化させることをミッションに事業を拡大してきました。また、戦略的ITをお客様に提供するITコンサルティング事業とともに、グループ内でデジタルマーケティング、スポーツ、IT教育、Eコマースなどの分野における戦略的ITを実践するビジネスイノベーション事業を展開する2WAY戦略によってシナジー効果を創出し、グループ全体の未来価値を向上し続けています。

おかげさまで、2019年11月28日にフューチャーは創業30周年を迎えました。私たちが当時からこだわってきたリアルタイムアーキテクチャは、瞬時に収集・加工されたデータが企業経営に活かされる今の時代にまさに求められる要素であり、この技術をベースにお客様の新たな未来価値をデザイン・創造し続けることがフューチャーの使命であると強く感じています。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月



フューチャー株式会社
代表取締役会長 兼 社長 グループCEO

金丸恭文

当グループの現状及び今後の戦略について

2019年12月期の事業概況

2019年12月期のハイライト

01

連結売上高は
前期比12.9%増の
453億円

02

連結営業利益は
前期比12.0%増の
65億円

2019年12月期の連結業績は、売上高45,389百万円(前期比12.9%増)、営業利益6,523百万円(同12.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,557百万円(同11.3%増)となりました。

ITコンサルティング&サービス事業は、戦略的なIT投資に取り組んでいる既存顧客に加えて、デジタル戦略で経営変革を推進する意識の高まった新規顧客の獲得で売上が増加しました。

ビジネスイノベーション事業においては、eSPORTS、コードキャンプ、ライブリッツの業績が好調に推移し、セグメントとして初めて黒字転換しました。

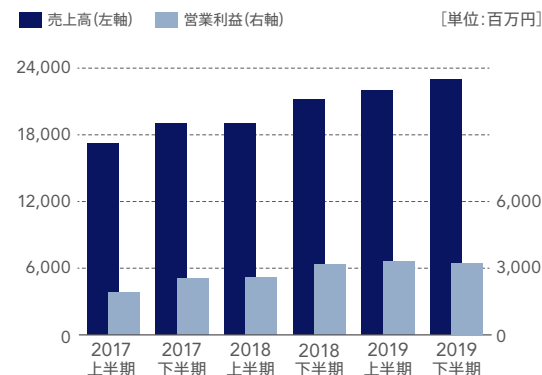
株主還元策

株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置づけ、持続的な成長を図るための内部留保資金を確保しつつ、期間損益、キャッシュ・フローの状況、自己株式の買付状況等を総合的に勘案して、連結の配当性向35%以上を目安に株主還元を実施しています。

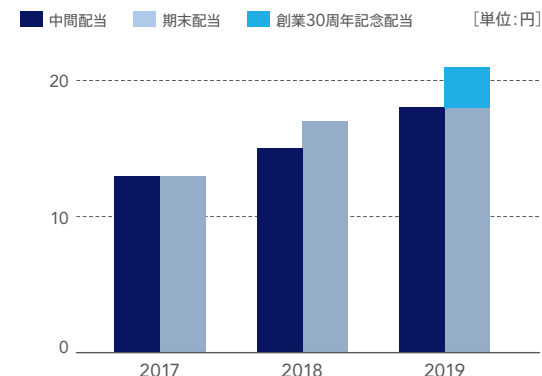
この方針に基づき、2019年12月期の期末配当金については1株当たり普通配当18円に創業30周年記念配当3円を加え、1株当たり21円、年間配当は39円といたしました。

また、次期の配当金は、1株当たり年間40円(うち中間配当20円)を予定しています。

[連結] 半期別業績推移



1株当たり配当金



ITコンサルティング&サービス

▶ リアルタイムアーキテクチャで多種多様な業界の顧客を獲得

フューチャーは、リアルタイムアーキテクチャによるデータ活用を通じて、新たな価値創造を目指すお客様の企業価値向上に貢献しています。最新テクノロジーの恩恵を最大限に享受するシステムを業種に依存せず構想しているため、従来のアパレル・流通小売・物流／サービスに加え、新たに電鉄・不動産など社会インフラ系の企業のプロジェクトを受注するなど、多種多様な業界のお客様にサービスを提供しています。

また、過去にフューチャーが基幹システムを構築し、システム見直し時期を迎えているお客様から、10～40億円規模のリピーターオーダーを受注しています。



SGホールディングス様

▶ 戦略的パートナーシップの深化

フューチャーは、戦略パートナーとしてSGホールディングス様を10年以上支援し続けています。直近では、物流業界の喫緊の課題である人材不足をテクノロジーの活用により解消すべく取り組んでいます。

2019年は、ロボットによる荷降ろしの完全自動化など、人手不足を解消するシステムの構築を支援しました。この取り組みは、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム スマート物流サービス」の研究開発プロジェクトに採択されています。

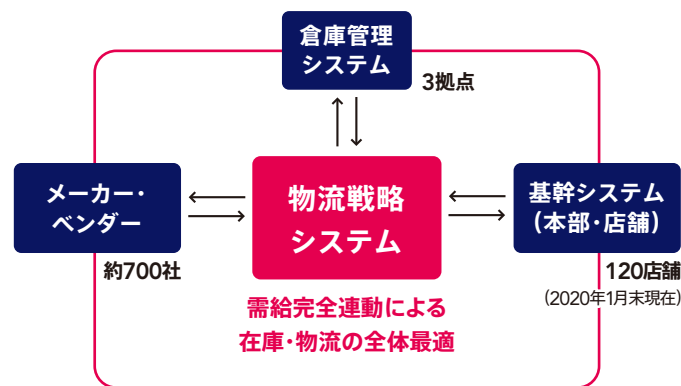
また、AI等の技術・ノウハウや保守スキルを持った人材の育成を目的に、SGシステム様全社員を対象に教育プログラムを提供しました。



オーケストア様

▶ 物流戦略の実現をサポート

フューチャーは、「高品質・Everyday Low Price」の哲学が生活者に支持されているオーケストア様の物流戦略の実現を支援しています。自社主導で無駄なく最適な在庫管理を徹底し物流コストを低減させるため、フューチャーは本部・店舗、倉庫、メーカー・ベンダーの各システムの基盤を共通化しました。これにより、高精度の需要予測が在庫管理に正確に反映され、負荷やロスを極小化して物流全体を最適に維持できるようになりました。

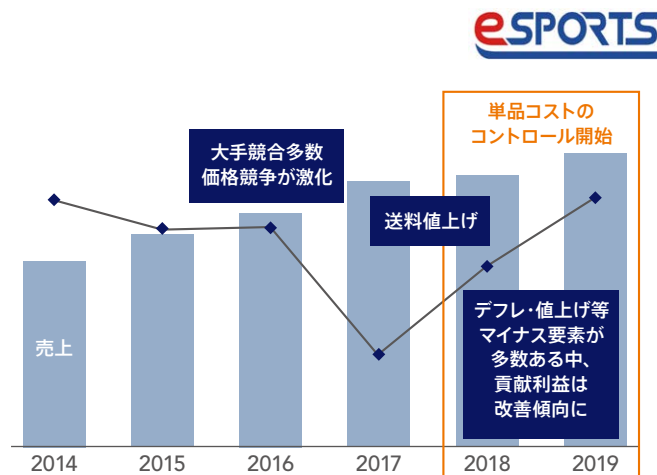


ビジネスイノベーション

IT×小売

▶ 単品コストのコントロールで利益を回復

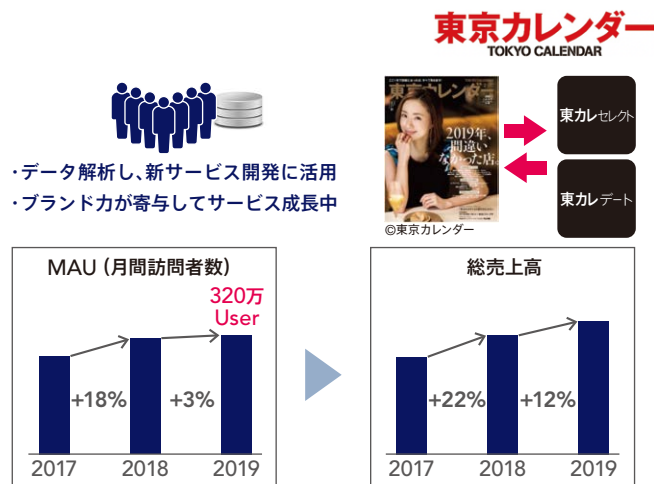
価格競争の激化や送料値上げなどマイナス要素が数多くある中、eSPORTSの貢献利益は改善傾向にあります。2019年は、単品単位でのコストを可視化するとともに、物流コストを見直し、売価・送料をコントロールすることで貢献利益率の向上を図りました。



IT×マーケティング

▶ オールドメディアとニューメディアの融合を加速

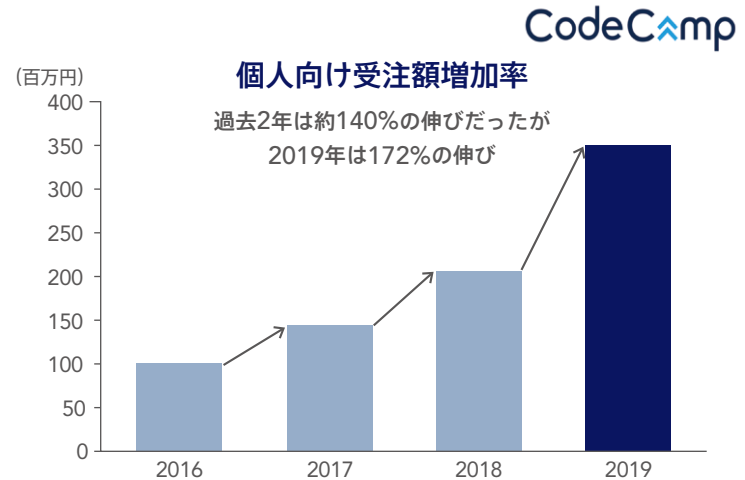
東京カレンダーは、マーケティングプラットフォームの活用により、オールドメディアとニューメディアの融合を加速させています。エンゲージメントの高いユーザーデータをもとに月刊誌『東京カレンダー』の企画やネットサービスを開発する一方、月刊誌の実売も堅調に推移し、ブランディングに寄与しています。



小学生やエンジニア 転職志望者向けサービスを強化

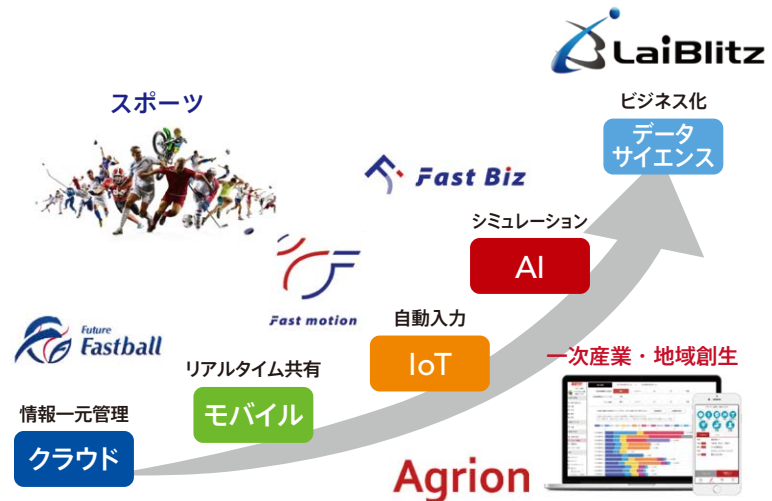
プログラミングスクールCodeCampの個人向け受注額は、順調に増加しています。2019年は、NTTドコモ様と共同開発した小学生向けロボットプログラミング教材「embot」の全国展開を開始しました。また、エンジニア転職志望者向けサービスでは、「LAPRAS※」との連携によりポートフォリオ作成・転職活動などの支援を強化しました。

※LAPRAS様が提供する、エンジニアのスキル情報の可視化プラットフォーム。



スポーツだけでなく、 一次産業IoT、 スマートシティ型IoT事業も展開

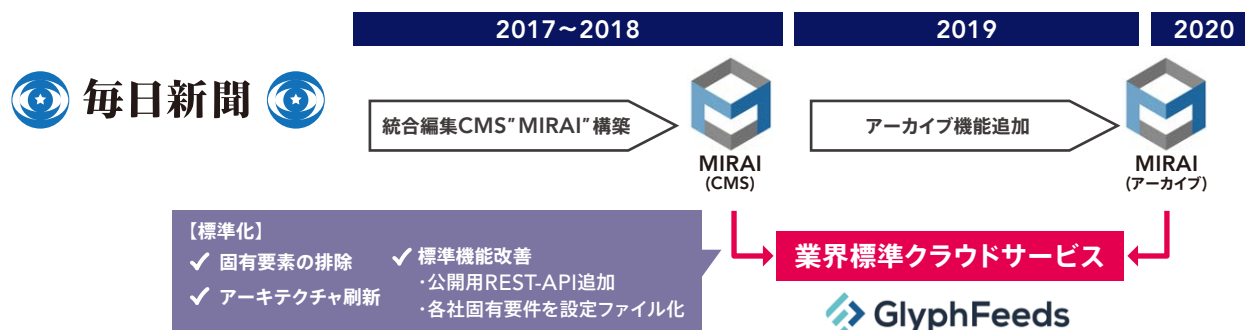
ライブリッツの売上・利益は順調に伸長し、利益率も10%を達成しました。今後はプロ野球をはじめとするスポーツ分野に加え、AIやデータサイエンス技術を活用することで、一次産業向けIoTやスマートシティ型IoTの事業展開を図っていきます。



成長し続ける戦略的拡充路線

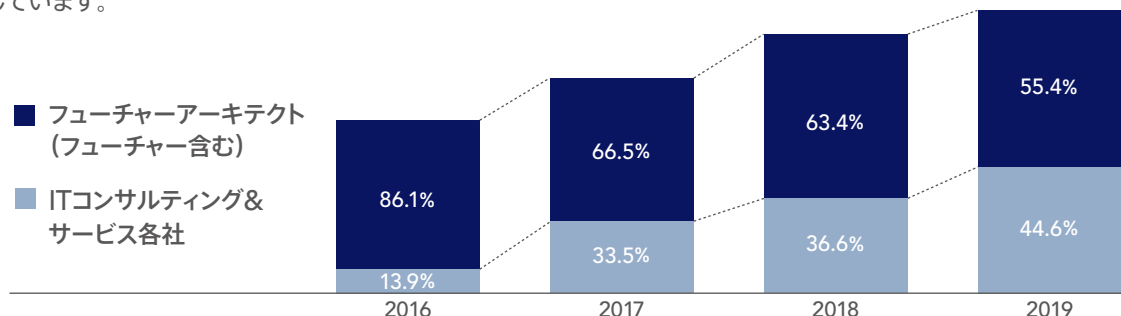
▶ 業界標準クラウドサービスの提供

フューチャーは、銀行やアパレルにおいてお客様固有の業務システムを構築するとともに、それぞれの分野に関する業務知識やノウハウを内包した業界標準クラウドサービスへと進化させてきました。今後は、流通小売やメディアの分野でも業界標準クラウドサービスを提供することで、より多くのお客様の未来価値創造に貢献していきます。



▶ ITコンサルティング&サービス各社の伸長

フューチャーのITコンサルティング&サービス事業は順調に伸長しており、フューチャーアーキテクト1社への依存から脱却しました。2019年12月期におけるフューチャーアーキテクト以外のITコンサルティング&サービス各社の営業利益の合計額は、全体の44.6%まで拡大しています。



特集

-Feature-

Future Work Style

～充実の育児サポート制度～

全社員が、より効率的に多様なワークスタイルで充実した私生活を送るために、フューチャーではフレキシブルな働き方を推奨し、様々なライフイベントに対応した各種制度を導入しています。



入社

裁量労働制

裁量労働制を適用しており、個人が自律した意識を持ち、時間を有効的に使う仕事の進め方を主体的に取り組んでいます。



結婚

特別休暇制度

社員本人が結婚する際、特別休暇(5日間)を取得。御祝金も支給しています。



出産・育児

育児サポート制度

育児のための時短勤務制度、男性による育児休暇、休業を推奨。フレキシブルな働き方で公私の両立を図ることができます。



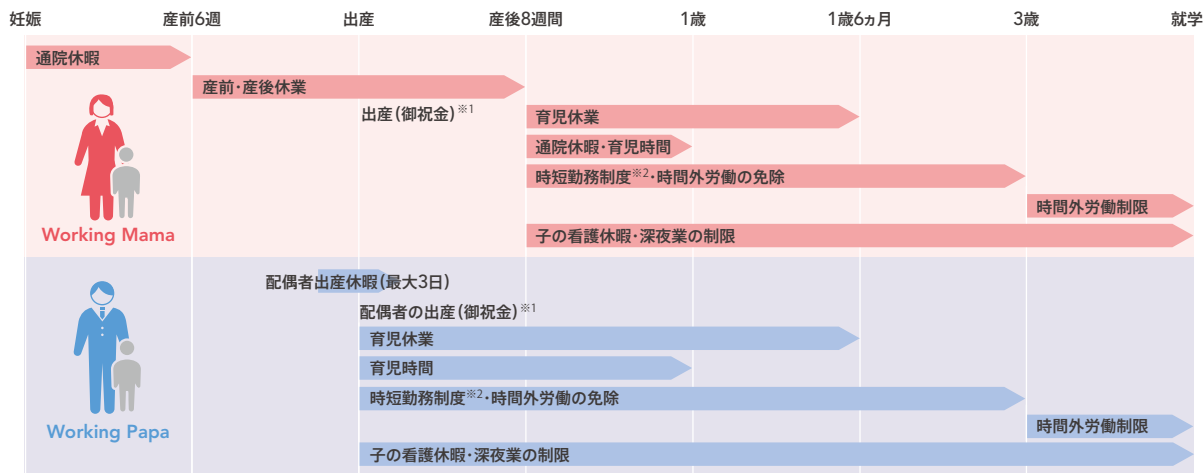
介護

家族介護サポート制度

家族に要介護者がいる場合、介護休暇、介護休業を取得できます。

育児サポート制度

共働きや育児世代が多く勤めているフューチャーでは、フューチャーグループが運営する健康保険組合だからできる手厚い出産一時金の支給、状況に応じた時短勤務制度・時間外労働の免除など、社員のニーズをくんだサポートが充実しています。



※1 フューチャーグループ健康保険組合では一般より手厚い出産育児一時金を支給 ※2 状況に応じて3歳以降も延長できる



フューチャーは働き方の幅があるので助かります

朽方 邦孝

2008年入社

Q:なぜ育児休業を取ろうと思ったのですか？

A:1人目の出産時は、妻1人に育児の負荷がかかってしまったので、2人目の時は絶対に取得しようと考えていました。

2人目の妊娠がわかったのは、1年以上前から従事するプロジェクトのシステム稼働が翌年に控える状況でしたが、「妻が切迫早産気味で動けなくなるので、上の子の保育園の送り迎えのため17時に帰らせてほしい。出産後半年間育児休業を取得したい。」と上司に相談したところ、快く了承してもらえました。周囲のサポートもあり、出産準備直前にはお客様先勤務と自宅リモートで業務にあたりました。妻が出産のため里帰りした期間、上の子の育児と仕事の両立は大変でしたが、働き方の幅がある会社で助かりました。子供の誕生と同時期にシステムが稼働、1ヵ月ほどのサポートと引継ぎを終え、半年間の育児休業に入りました。メンバーやお客様からも快く送り出していただき、安心して育児休業できました。

Q:ご家族や同僚など周囲の反応はいかがでしたか？

A:妻には「取ってくれて本当にありがたい。1人では倒れていたよ。」と感謝されました。復帰後職場では、同僚や上司に温かく迎えてもらい、嬉しかったですね。仕事も育児休業前と同じ事業部で働いています。男性の育児休業は1、2ヵ月程度が一般的ですが、当たり前半年間取得できる企業はまだ少ないと思います。長期間家族での育児に向き合えた事で、絆もさらに深まりました。仲間が同じ境遇になった時は、安心して育児休業できるようサポートしていきたいです。



産休中に復帰後のキャリアについて会社と相談、フルタイムで復帰

柴田 莉衣

2009年入社

Q:復帰についてのプランはどのように決めましたか？

A:私は出向中に産休に入りましたので、周囲の皆さんにご迷惑をかけてしまうのでは、と正直不安もありました。でも出向先の会社から快く送り出していただき、産休・育児休業中には、復帰の時期などをフューチャー、出向先と連絡を取り合い、キャリアについて私の希望を尊重していただきました。子供が5ヵ月での復帰ということでまだ手がかかる時期だったので、時短で働いたほうがよいのではと考えていました。しかし上司から「時短でもフルタイムでもやらなければいけないことは同じ」と助言を受け、周囲の理解や協力をいただきながら、産休前と同じ出向先へフルタイムで復帰しました。復帰後は出社前・帰宅後の自宅作業や、会議にはリモートで参加するなど、休職前と同じ裁量で働くことができます。

Q:復帰後の働き方で変化はありましたか？

A:何でも1人でやるタイプでしたが、復帰後は子供の急な体調不良などで周囲に迷惑をかけないために、一緒に働くメンバーの得意なことを活かしながら、プロジェクトを成功に導くために私がやるべきことは何かを常に考えるようになりました。またキャリア形成という観点でも、時間の制約が仕事に影響しないよう工夫しながら、自分自身のベースとなるスキルを磨いておくことで、復帰後も納得のいく働き方ができると感じています。





男性の育児休業取得は
「ふつう」のこと
小池 駿仁

2016年入社

Q: 育児休業を取得した状況について教えてください。

A: 第2子の出産が帝王切開となり、妻が術後しばらく動けないことが見込まれていたため、育児休業を取得しました。退院後も妻が落ち着くまで第1子の面倒を見られるようにと、期間は3ヵ月ほど。周囲と相談しながら進めていったので、取得に対する迷いや不安はありませんでした。取得にあたり、プロジェクトリーダーと一緒にお客様への説明の仕方やタイミングを考え、後任をアサインする計画を進めていきました。フューチャーでは男性の育児休業取得は特別なことではなく「ふつう」のことと捉えられているため、理解は得やすかったです。

Q: 育児休業を取得していかがでしたか？

A: 実は「もう1〜2ヵ月長く取っても良かったかな」と思っています。

復帰前からプロジェクトのメンバーと連絡を取り合っていたので、スムーズにプロジェクトへ戻ることができました。復帰後も保育園の送りは私の仕事、プロジェクトリーダーと相談しながら働く時間帯を調整し、朝は10時半出社としています。仕事との折り合いがつけば調整できるのがフューチャーのいいところで、型にはまらず働き方を自分でデザインしていくことができます。私が取得したことで安心してもらったのか、同じプロジェクトの男性も今育児休業を取得中です。



復帰後を考え
「育児休業中就業制度」を利用
木下 尚美

2007年入社

Q: 「育児休業中就業制度」について教えてください。

A: 育児休業を取りながら仕事ができる公の制度です。フューチャーでは最長2年間の育児休業が取得可能ですが、変化の激しいIT業界で長期間仕事から離れると、復帰時の技術的、心理的ハードルが高くなるという不安がありました。育児休業中に少しずつでも仕事に携われる「育児休業中就業制度」で働きたいと会社に相談したことで検討が進み、第1号として産後4ヵ月から在宅勤務を行っています。子供の成長に合わせて、月20〜40時間程度勤務しながら子育てを両立させています。フューチャーのよいところは無意味な前例主義が全くないところ。フューチャーの理念のひとつ「ないものはつくる」の精神はこういった面でも生きています。

Q: 制度を利用した感想を教えてください。

A: 元々リモートワークの環境が整い、社員も在宅勤務に理解があったので、スムーズに業務にあたることができ、満足度の高い生活を送っています。幼い我が子の成長を間近で感じられる生活は、何ものにも代えがたい幸せな時間です。

ただ、仕事をやり遂げた時の達成感や、仲間やお客様から「ありがとう」と言われた時の充実感、仕事でこそ得られる心の活力。考えを会社側に伝えていくことで、自分らしくフレキシブルに働けるのがフューチャーらしさだと思います。

フューチャーとSDGs

フューチャーのSDGs(持続可能な開発目標)に関する取り組みをシリーズでお伝えしていきます。

▶ フューチャーのフィロソフィーとSDGs

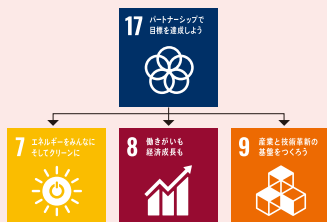
フューチャーは創業以来、「科学・技術を熟知し、経営変革と社会変革に貢献する」という企業理念に基づき、経営戦略とIT戦略の両輪でのコンサルティングサービスの提供を行ってきました。この企業活動を通じて、ビジネスと社会の未来をデザインし、社会課題の解決に貢献しています。

また、フューチャーは活動の実施にあたり、「大義を問う」ことを常としてきました。2016年に発効した国連のSDGsは、この「大義」を国際的に体系化・明文化した内容であり、フューチャーが活動をするのに大切にしてきたフィロソフィーと合致している点も数多くあります。

企業活動(ITコンサルティング&サービス/ビジネスイノベーション)

顧客とのパートナーシップによるSDGsへの貢献

優先するゴール



自社事業活動を通じたSDGsへの貢献

優先するゴール



内部活動におけるSDGsへの貢献

優先するゴール



フィロソフィー「大義を問う」

▶ SDGsへの貢献

顧客との パートナーシップによる SDGsへの貢献



ITコンサルティング&サービスの領域では、顧客とのパートナーシップに基づき、顧客のビジネスを変革することでSDGsに貢献しています。

物流業界

内閣府が推進する戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の研究テーマの一つであるスマート物流サービスの研究開発に参加する等、高い技術力を活かし、社会インフラである物流業界の課題解決へ貢献

小売業界

複数箇所の配送拠点を1カ所に統合、管理システムを刷新することで、SCMの高度化を実現し、エネルギー効率の向上に貢献

金融業界

「FutureBANK」、業務改革のコンサルティングサービス提供により、銀行の融資の業務量を減らし、生産性の2倍の向上を達成するなど、働き方改革に貢献

自社事業活動を通じた SDGsへの貢献



コードキャンプではオンラインで現役エンジニアによる高品質なプログラミング教育を提供しています。その中でプログラミング教育を通じた女性の能力強化の促進にも寄与しており、2012年の創業以来累計で約11,000名の女性のプログラミングスキル獲得に貢献してきました。

ライブリッツでは、農業者の生産工程管理可視化をする「Agrion農業日誌」や販売管理を行う「Agrion販売管理」の提供を通じて、農業者の生産性向上、地域活性化に取り組んでいます。

内部活動における SDGsへの貢献



フューチャー・フューチャーアーキテクトの社内プロジェクトの一つとして実施した『1000 nice things』では、社員671名から全855個の会社を良くするアイデアが生まれました。こうしたアイデアをベースにフューチャーでは、社員一人ひとりが働きやすい環境(基盤)作りに取り組んでいます。また、コーポレート部門を含めた、全社員に対してAI教育を実施しており、質の高いIT教育を包摂性を持って提供しています。

フューチャーの業績・財務状況

▶ 連結貸借対照表 ー決算のポイントー

- ▶ 総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により、前期末比1,798百万円増加
- ▶ 負債は、長期借入金及び繰延税金負債の減少等により、前期末比389百万円減少
- ▶ 純資産は、利益剰余金の増加等により、前期末比2,187百万円増加

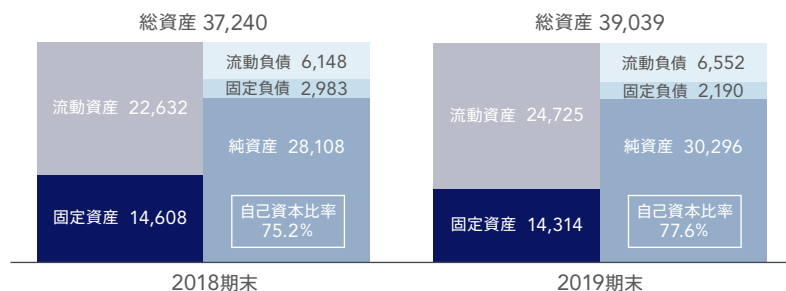
[単位:百万円]

	前連結会計年度末 2018年12月31日現在	当連結会計年度末 2019年12月31日現在
流動資産	22,632	24,725
固定資産	14,608	14,314
流動負債	6,148	6,552
固定負債	2,983	2,190
純資産	28,108	30,296
総資産	37,240	39,039



総資産の推移

[単位:百万円]



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。

▶ 連結損益計算書 ー決算のポイントー

- ▶ ITコンサルティング&サービス事業において売上高・営業利益が前期比で増加、ビジネスイノベーション事業において営業利益が黒字となったことにより、全体の売上高・営業利益ともに増加

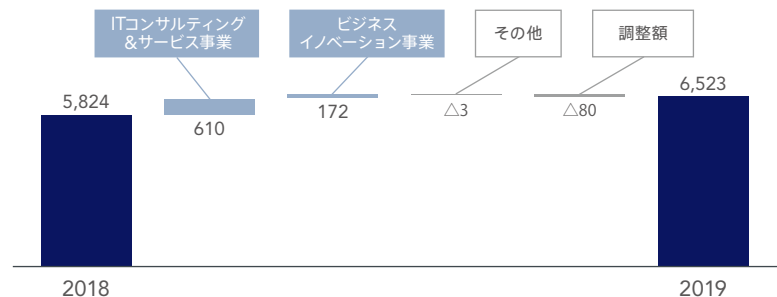
[単位:百万円]

	前連結会計年度 自2018年 1月 1日 至2018年12月31日	当連結会計年度 自2019年 1月 1日 至2019年12月31日
売上高	40,218	45,389
売上総利益	16,574	18,504
販売費及び一般管理費	10,750	11,981
営業利益	5,824	6,523
経常利益	6,052	6,710
親会社株主に帰属する当期純利益	4,094	4,557



営業利益の増減要因

[単位:百万円]



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 ー決算のポイントー

- ▶ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上等により、5,002百万円の収入
- ▶ 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、1,856百万円の支出

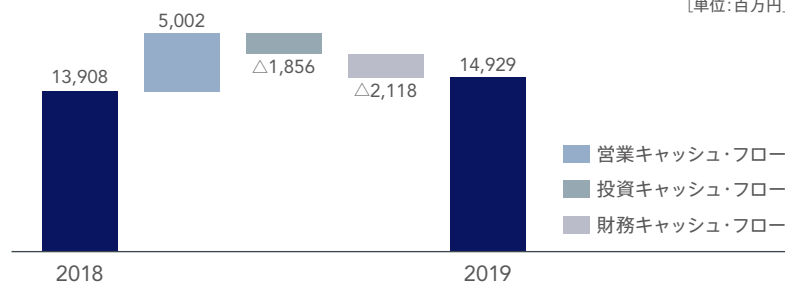
[単位:百万円]

	前連結会計年度 自2018年 1月 1日 至2018年12月31日	当連結会計年度 自2019年 1月 1日 至2019年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,965	5,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,199	△1,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,333	△2,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△6
現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	4,430	1,021
現金及び現金同等物の期首残高	9,478	13,908
現金及び現金同等物の期末残高	13,908	14,929

キャッシュ・フローの推移



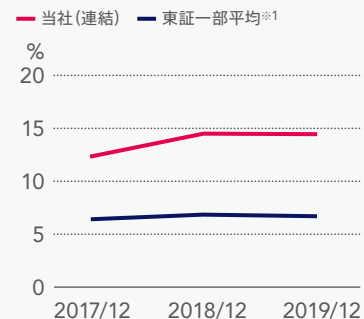
[単位:百万円]



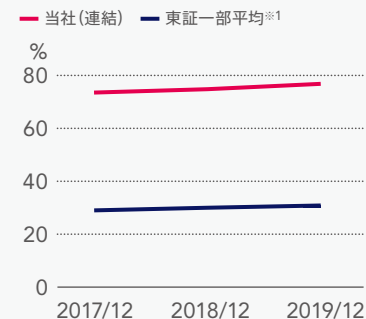
※現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しています。それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

▶ フューチャーの投資指標

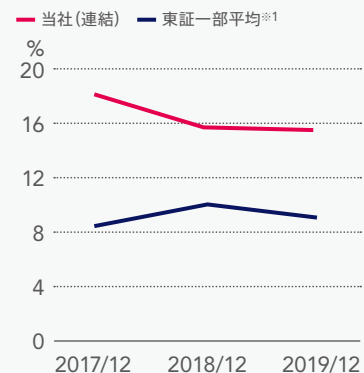
売上高営業利益率



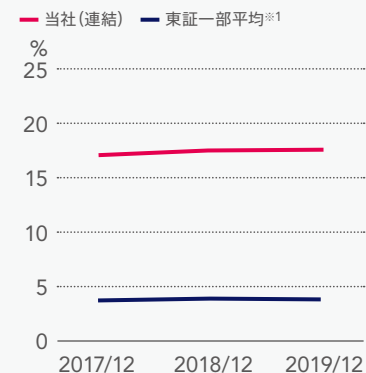
自己資本比率



自己資本当期純利益率(ROE)※2



総資産経常利益率(ROA)

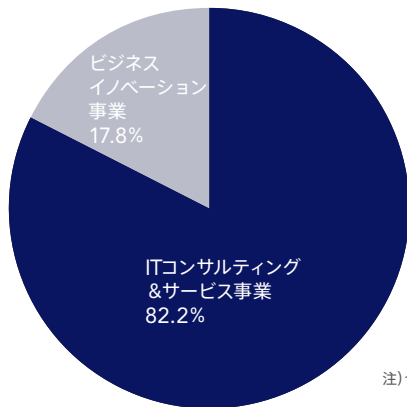


※1 2017年3月期、2018年3月期、2019年3月期決算短信(非連結を含む)を発表した東証一部上場会社のうち、変則決算会社・各期における新規上場会社・金融業に係る集計対象会社を除いた会社の平均値。
(出典:東京証券取引所統計資料)

※2 2017年12月に株式を保有している1社が上場し、自己資本が増加した影響により、自己資本当期純利益率が低下しています。

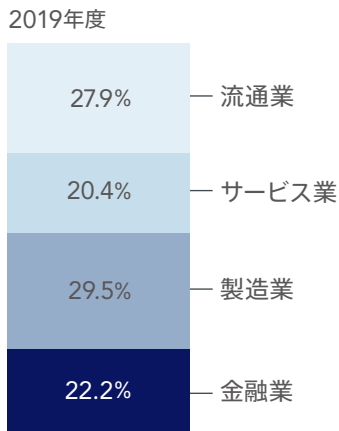
フューチャーのセグメント別業績・戦略

セグメント別売上高構成比 2019年度

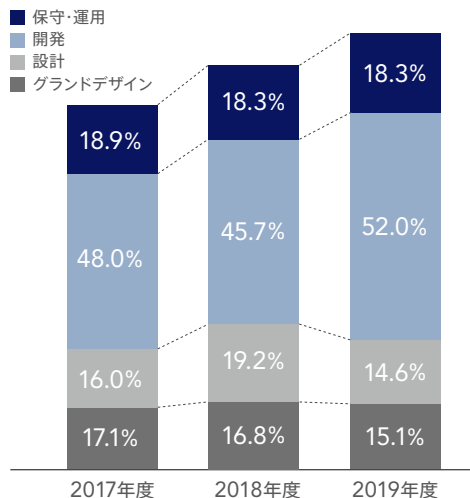


注)セグメント間調整前の数値です。

ITコンサルティング&サービス事業における業種別売上高構成比



ITコンサルティング&サービス事業におけるフェーズ別売上高構成比推移



※1 2017年度は、フューチャーアーキテクト、フューチャーインスペース、ワイ・ディ・シーを合算、2018年度・2019年度は、フューチャー、フューチャーアーキテクト、フューチャーインスペース、ワイ・ディ・シーを合算しています。

※2 調達品およびその保守は含んでおりません。

2019 レビュー

ITコンサルティング&サービス事業

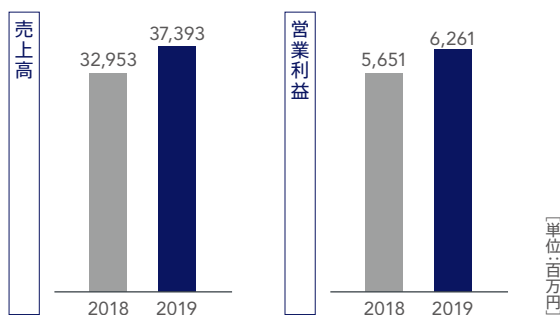
- ▶フューチャーアーキテクトは、アパレルや流通小売、新聞、物流/サービス、地方銀行といった既存顧客に加え、不動産や電鉄といった新規顧客の売上が増大したものの、一部不採算プロジェクトが発生したことから増収・減益となりました。
- ▶フューチャーインスペースは、フューチャーアーキテクトが構築したプロジェクトの保守・運用案件が拡大したことに加え、独自の新規開発案件が増加したことにより、増収・増益となりました。
- ▶ワイ・ディ・シーは、前年に大型案件があった反動から、減収・減益となりました。
- ▶FutureOneは、中堅上位企業向けのオリジナル販売管理パッケージソフト「InfiniOne」などの売上が増加し、営業利益が大幅に増加しました。

ビジネスイノベーション事業

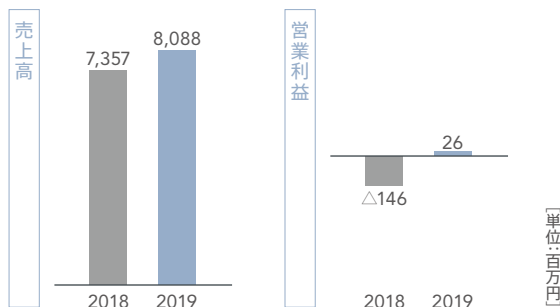
- ▶eSPORTSは、単品単位の物流コストの削減のための施策を一つ一つ着実に実現することにより、営業利益が増加しました。
- ▶東京カレンダーは、上半期、広告収入が計画を下回ったものの、下半期は広告収入の回復とコスト削減に努め、通年での赤字幅を縮小しました。
- ▶ライブリッツは、新規のプロ野球球団の顧客を獲得したことにより、売上高と営業利益は前期比で増加しました。
- ▶コードキャンプは、個人向けのオンライン・プログラミング講座が毎月順調に増加しており、売上高と営業利益は前期比で増加しました。

▶ 2019 実績

ITコンサルティング&サービス事業



ビジネスイノベーション事業



▶ 今後の見通し

ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーは、「経営とIT、そしてAIをデザインする」ことを掲げ、グループのシナジーを活用しながらAIやIoTを駆使することで、お客様の経営改革や業務革新に貢献する機会を拡大していきます。

フューチャーアーキテクトは、進行中のプロジェクトを確実に成功に導くとともに、新規プロジェクト受注の拡大を目指します。多種多様な業界の顧客に当社の価値を提供できるよう、サービスの拡大を図るとともに、人材の採用・教育、品質管理・プロジェクトマネジメントの強化を進めていきます。

ワイ・ディ・シーは、製造業向けのITコンサルティングの事業基盤を強化することにより、AI等の先端技術をベースにした品質管理システムや、開発設計領域の業務改革コンサルティング等を拡大していきます。

FutureOneは、フューチャーの顧客ネットワークの活用や、外部販売パートナーとの連携強化により、オリジナルのパッケージソフトウェアの受注拡大を図るとともに、受注済み案件の確実な完成に向けて体制強化を進めていきます。

ビジネスイノベーション事業

eSPORTSは、さらなる物流コストの削減に向けた梱包サイズの見直しや、販促費削減のための自社ECサイトの再構築、単品単価の利益貢献の可視化による売価設定の適正化などの業務改革をさらに推進することで、売上・利益の拡大を図ります。

東京カレンダーは、雑誌やネットの広告売上の拡大を図りながらも、広告売上には依存しないビジネスモデルの構築を目指します。今後は、グループのテクノロジーを活用することで、強力な支持層である30代から40代の上昇志向の高い男女の生活や嗜好に合致するコンテンツやイベントを提供する仕組みを開発します。

ライブリッツは、プロ野球球団のチーム強化に貢献してきたシステムを、独立リーグ、社会人野球、大学・高校野球などアマチュアにも提供するとともに、サッカーのJリーグやソフトボールなどにも拡大していきます。また、一次産業向けIoTやスマートシティ型IoTの事業展開も図っていきます。

コードキャンプは、知名度の向上により個人向けプログラミング講座の受注が増加しています。今後は、AIやデータサイエンスを活用したメニューの提供や、人材紹介会社との提携による転職希望者向けサービスの強化により法人向けIT研修の売上増大を図ります。

会社概要(2019年12月31日現在)

会社名	フューチャー株式会社
英文社名	Future Corporation
設立	1989年11月28日
資本金	14億21百万円
従業員数	2,142名(連結)

役員(2020年3月25日現在)

代表取締役会長 兼 社長	金丸 恭文
取締役副社長	石橋 国人
取締役	神宮 由紀
取締役CTO	齋藤 洋平
取締役	山岡 浩巳
取締役(常勤監査等委員)	市原 令之
取締役(監査等委員)	川本 明
取締役(監査等委員)	榊原 美紀
取締役(監査等委員)	西浦 由希子

主要な連結子会社の状況(2019年12月31日現在)

- フューチャーアーキテクト株式会社
- フューチャーインスペース株式会社
- 株式会社ワイ・ディ・シー
- FutureOne株式会社
- 株式会社マイクロ・シー・エー・デー
- 株式会社ディアイティ
- イノベーション・ラボラトリ株式会社
- 株式会社eSPORTS
- 東京カレンダー株式会社
- コードキャンプ株式会社
- ライブリッツ株式会社
- フューチャーインベストメント株式会社

他7社

主な事業所(2019年12月31日現在)

本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー TEL : 03-5740-5721 FAX : 03-5740-5820
名古屋オフィス	愛知県名古屋市中区
大阪オフィス	大阪府大阪市中央区

株式の状況 (2019年12月31日現在)

発行可能株式総数 189,376,000株
 発行済株式の総数 47,664,000株
 株主数 4,924名

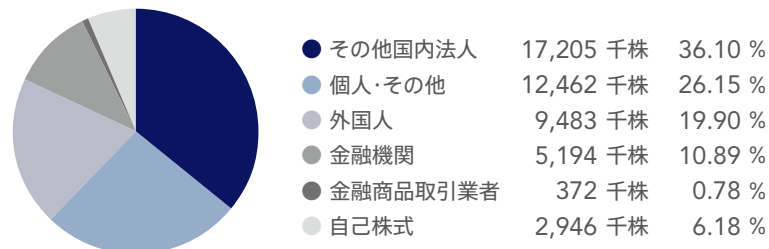
大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
合同会社キーウェスト・ネットワーク	15,093	33.7
金丸 恭文	5,558	12.4
SGホールディングス株式会社	2,000	4.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,573	3.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	1,412	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,296	2.8
GOVERNMENT OF NORWAY	1,281	2.8
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	961	2.1
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	739	1.6
石橋 国人	618	1.3

*1 当社は、自己株式を2,946千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

*2 持株比率は自己株式(2,946千株)を控除して計算しています。

株式の所有者別状況



ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主メモ

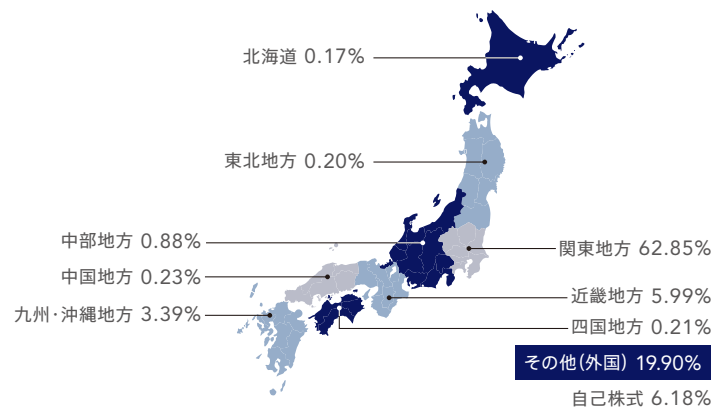
決算期 12月31日 期末配当基準日 12月31日
 定時株主総会 3月 中間配当基準日 6月30日

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 (連絡先・照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル:0120-782-031
 ホームページ:

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告掲載URL https://www.future.co.jp/investor_relations/notice/
 ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に公告いたします。

株式の所在地別状況



注意事項

本レポートには、現時点における情報に基づいた将来にかかわる予測が含まれております。それらは今後の日本経済やITサービス業界の動向などにより、変動する可能性がございます。従って、当社がその確実性を保証または約束するものではないことも予めご承知おきください。

Future Report 2019

フューチャー株式会社

本社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2
TEL:03-5740-5721 FAX:03-5740-5820

<https://www.future.co.jp>